

シラコバト賞の選考について

○シラコバト賞とは…

住みよい地域社会の実現に向けて、日頃から身近な地域で積極的に実践活動を行っている個人や団体に対し、彩の国コミュニティ協議会（会長：埼玉県知事）から贈られる賞です。

「心のふれあいを深める活動」「健やかな心身を育てる活動」「住みよいふるさとをつくる活動」「郷土を知り、郷土を想う活動」の4分野で実践活動を行う個人・団体が対象となります。

候補者の推薦を経て、例年「県民の日」記念式典にて表彰されます。

1 推薦を受ける者

順位	氏 名	内 容	活動歴 (R8.11.1現在)
	松島 幸子	「健康づくり料理講習会」を15年間実施し、食生活改善推進員協議会の役員を4年間担い、地域の食生活改善に貢献してきた。	15年7か月
	長堀 厚子	「健康づくり料理講習会」を15年間実施し、食生活改善推進員協議会の役員を4年間担い、地域の食生活改善に貢献してきた。	15年7か月
	シルバーボランティア藤の実会	週1回布小物を制作する場を設け、高齢者が地域と関わり続ける機会を創出し、地域に根差した温かなつながりづくりに寄与している。	44年8か月

2 順位付けについて

- (1) 定期的活動よりも常時的活動を優先する。
- (2) 職業から波及したものでない活動を優先する。
- (3) 同一活動で他の表彰の受賞歴のないものを優先する。
- (4) 活動内容が類似している場合は、活動年数・回数の多いものを優先する。
- (5) 個人の場合、団体の運営を中心とした活動より実践活動を優先する。
- (6) 個人の場合は、公職にないもの、団体の場合は、行政との関わりが浅いものを優先する。